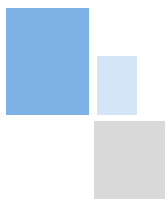


日本HL7協会 第79回HL7セミナー

HL7 FHIR eLearningについて



2021年11月21日(日)
日本HL7協会 情報教育委員会

岡田美保子

提供中のHL7 eLearningコース

モジュール1. 入門（3週間）

ユニット1.1	標準化の世界へ
ユニット1.2	ボキャブラリ入門
ユニット1.3	UML入門
ユニット1.4	XML入門

モジュール2. HL7 V2.x（4週間）

ユニット2.1	HL7 Version 2.x. データタイプ. ACK入門
ユニット2.2	患者管理、オーダ、結果
ユニット2.3	Z セグメントと実装ガイド
ユニット2.4	V2 XML入門

<http://www.hl7.jp/info/cat5/>

提供中のHL7 eLearningコース

- HL7 Internationalで開発されたHL7規格のeLearning教材
- 日本HL7協会にて和訳
- Moodleを用いたeLearningシステム
- 受講方法
 - 教材を読む
 - 多肢選択型式のクイズに解答
 - 課題を解いて実践的に学ぶ

80%以上の正答率で合格判定 認定証付与

新HL7 FHIR eLearning

対 象： アプリケーション開発者、システム・ベンダ、医療情報技師、
医療情報研究者・実務担当者、FHIR活用に関心のある方

方 法： WebベースのeLearningシステムで講演(動画)を視聴する

共 催： 日本HL7協会と日本医療情報学会医療情報技師育成部会※
との共催による提供

コース： 第1部「FHIRを知る」、第2部「FHIRで作る」

※ 第1部、第2部それぞれ日本HL7協会が提供するeLearningコースとして
また医療情報技師生涯研修セミナーとして位置付けられる

2つのeLearningコース

コース	第I部 FHIRを知る	第II部 FHIRで作る
対 象	基礎知識を得たい方	開発したい方 開発を考えている方
受講方法	講義を視聴する	講義を視聴する ハンズオン含む
評価方法	各講義について5肢択一式のクイズ5問に答える	演習問題を行う
修了認定	全問通じて8割以上の正解※1で修了認定証を付与	合格判定された場合に修了認定証付与

※1 再テスト可能

第1部「FHIRを知る」コース概要(予定)※1

コース単元	概要/キーワードの例	時間※2
1. はじめに: FHIRの 基本理念	FHIRとは何か、何がこれまでと違うのか、なぜFHIRを採用するのか、今どこまで来たか、等	60分
2. FHIRの基本用語・ 概念を理解する	HL7 FHIRの原則、FHIR Resourcesとは、Resourcesの分類、Extensions、Profiles、成熟度モデル、等	90分
3. 保健医療情報と FHIR	意味的相互運用性、SMART on FHIR事例、電子カルテとFHIR、臨床意思決定支援とFHIR、AIとFHIR、等	90分
4. FHIRの理解に必要な 基礎技術	Web技術の基礎、アジャイル、データモデル(UML)入門、JSON、セキュリティ(OAuth 2.0、OpenID Connect)、等	90分
5. FHIRの実際 – 応用事例に学ぶ	いま実際どう使われているか 海外の事例、国内の事例	90分
おわりに	FHIRを世の中でどう使っていくのか、すべてをFHIRで置き換えるのか?	30分

※1 今後改訂される場合がある

※2 テストの所用時間は含まない

第1部「FHIRを知る」コース概要(予定)※1

コース单元	講師
1. はじめに: FHIRの基本理念	日本HL7協会会長 木村通男先生
2. FHIRの基本用語・概念を理解する	日本HL7協会 塩川康成先生
3. 保健医療情報と FHIR	東京大学 大江和彦先生、土井俊祐先生
4. FHIRの理解に必要な基礎技術	日本HL7協会 壇原一之先生
5. FHIRの実際 – 応用事例に学ぶ	インターシステムズジャパン 上中進太郎先生
おわりに	日本HL7協会会長 木村通男先生

※1 今後改訂される場合がある

第2部「FHIRで作る」 コース概要(予定)※1

コース単元	概要/キーワードの例	時間※2
1. はじめに: FHIRの基本理念	FHIRとは何か、何がこれまでと違うのか、なぜFHIRを採用するのか、今どこまで来たか、等	60分
2. FHIRの基礎技術群の詳細	REST、JSON、FHIRサーバへのPOST、FHIRサーバからのGET、FHIR APIを用いたクライアントアプリケーションの開発技術、等	90分
3. FHIR 4つのパラダイムの実際	ROA(Resource Oriented Architecture)、REST、Documents、Messages、Services (SOA)、等	90分
4. FHIRアプリケーション開発1 - ハンズオン	クライアントの立場からのハンズオン、検索系を中心に	90分
5. FHIRアプリケーション開発2 - ハンズオン	ハンズオンでクライアントを作って繋いでみる、バンドルを使って登録する、退院時サマリを登録してみる、電カルアダプタをHAPIにつなぐ、等	90分
おわりに	FHIRを世の中でどう使っていくのか、すべてをFHIRで置き換えるのか?	30分

※1 今後改訂される場合がある

※2 演習の所用時間は含まない

第2部「FHIRで作る」 コース概要(予定)※1

コース単位	講師
1. はじめに: FHIRの基本理念	日本HL7協会会長 木村通男先生
2. FHIRの基礎技術群の詳細	東京大学 土井俊祐先生 群馬大学 鳥飼幸太先生
3. FHIR 4つのパラダイムの実際	
4. FHIRアプリケーション開発1 - ハンズオン	株式会社ファインデックス 宮川力先生 日本IHE協会 関昌佳先生
5. FHIRアプリケーション開発2 - ハンズオン	
おわりに	日本HL7協会会長 木村通男先生

※1 今後改訂される場合がある

新HL7 FHIR eLearning

想定される受講パターン

コース	受講パターン		
第1部 FHIRを知る	○	○	
第2部 FHIRで作る		○	○
テスト(課題)と修了認定			
■ 修了認定証を目指したい ■ 自身での確認のためテストは試したい ■ テストは受けない			

受講費（予定）

第1部「FHIRを知る」、第2部「FHIRで作る」それぞれ以下のとおり

■以下のいずれかの受講者： 10,000円

- ① 日本HL7協会会員
- ② 医療情報技師、上級医療情報技師 有資格者
- ③ 日本医療情報学会会員

■上記以外の受講者： 20,000円

※ 詳細については日本HL7協会ホームページに掲載予定

新 “HL7 FHIR eLearning”

リリース予定

第1部 2022年1月中旬

第2部 2022年2月末

※ 今後日本HL7協会ホームページにてご確認願います

乞うご期待！

新 “HL7 FHIR eLearning”

ご清聴ありがとうございました